

令和6年度 各ブロック研究協議会内容

ブロック	北海道
日 程	1月7日（火）～1月8日（水）
会 場	ホテルライフオート札幌
実施形態	対面
研究協議	<p>1 実践発表</p> <p>(1) 実践発表Ⅰ 「教職員が心から働きたいと思える学校の実践：経営の視点から」 北海道札幌稲雲高等学校長 坂 本 浩 哉</p> <p>(2) 実践発表Ⅱ 「学校の危機管理と根室高校の特色化・魅力化」 北海道根室高等学校長 松 田 素 寛</p> <p>2 調査研究部分科会研究報告</p> <p>(1) 教育課程委員会 「よりよい社会を実現する力を育む教育課程の研究」 ～持続可能な社会の創り手を育むカリキュラム・マネジメント～ 教育課程委員会委員（北海道鶴川高等学校長） 柳 本 高 秀</p> <p>(2) 管理運営委員会 「新時代に対応した高等学校経営の在り方」 ～学校経営における防災の在り方～ 管理運営委員会委員（北海道静内高等学校長） 酒 井 徹 雄</p> <p>(3) 進路指導委員会 「社会構造の変化を見据えた資質・能力を育成する進路指導の研究」 ～校種間の連携による系統立てたキャリア教育と社会への接続の在り方～ 進路指導委員会委員（北海道斜里高等学校長） 西 方 英 幸</p> <p>(4) 高大接続小委員会 「多様化する大学入試の研究」 ～高大接続に関する課題に対応した学校経営の在り方～ 高大接続小委員会委員（北海道当別高等学校長） 保 格 秀 規</p> <p>(5) 生徒指導委員会 「豊かな心を育む教育の推進」 ～新しい社会に対応した生徒指導の在り方～ 生徒指導委員会委員（北海道清水高等学校長） 増 田 康 広</p>
その他	<p>1 講演 講 師 大阪大学名誉教授 小野田 正 利 様 講演題 「難くなる保護者対応トラブル」 ～学校としてすべきこと、してはいけないこと～</p> <p>2 全国情勢報告 全国高等学校長協会 事務局長 宮 本 久 也 様</p>

ブロック	東北
日 程	7月2日（火）～7月3日（水）
会 場	青森市 ウェディングプラザアラスカ
実施形態	対面
研究協議	1) 研究協議Ⅰ「高等学校における「インクルーシブ教育」の推進に向けた実践事例について」 2) 研究協議Ⅱ「高校の魅力化に向けた地域連携及びコミュニティ・スクールの取組状況とその効果について」 3) 情報交換 「ICTを活用した授業改善及び学校におけるDXの推進について」 4) 実践事例提供「遠隔授業（授業配信）・学校間連携等の取組の実施状況及びその有効性と課題について」
その他	1) 全国情勢報告 全国高等学校長協会事務局長 宮本久也氏 2) 講師：青森県知事参与 青森家教育改革有識者会議議長 大谷真樹 氏 講演 演題：「今、求められる学校経営」

ブロック	関 東
日 程	10月16日(水)～10月17日(木)
会 場	埼玉県さいたま市(ホテルブリランテ武蔵野)
実施形態	対面開催
研究協議	5) 茨城県立結城第一高等学校 長久保 静江 校長 「特別の教育課程」の制度を活用した外国人生徒支援 ～地域・大学・NPO 団体との連携による日本語指導・キャリア教育を通して～ 6) 群馬県立伊勢崎高等学校 高橋 みゆき 校長 探究で学校をつくる ～大間々高校と伊勢崎高校、二校の実践から～ 7) 千葉市立稲毛高等学校 工藤 秀昭 校長 コロナ禍(令和4年度等)と比較して見えてきた業務改善 ～働き方改革につながることはあったか～ 8) 東京都立光丘高等学校 瀧本 秀人 校長 DX による効果的・効率的な管理運営の実現 ～業務縮減とライフ・ワーク・バランスの実現を通して～
その他	1) カンファレンス テーマ「1人1台タブレットの現状と課題、今後に向けて」 2) 講演 演題「教育の理想とよりよい学校づくりを問い続けて」 講師 武蔵高等学校中学校長 杉山 剛士 先生 3) 講話 演題「高校教育をめぐる最近の動向について」 講師 全国高等学校長協会事務局長 宮本 久也 氏

ブロック	北信越
日 程	9月19日（木）～9月20日（金）
会 場	石川県金沢市 金沢市文化ホール
実施形態	現地開催
研究協議	<p><大会テーマ>未来社会を担う全ての生徒たちの可能性を引き出す高校教育を目指して</p> <p>1 全体会</p> <p>発表1「学校の最上位目標を実現するための探究創造科としての取組」 福井県立高志高等学校長 山内 悟</p> <p>発表2「毎日、通いたくなる学校をめざして ～学校生活を通して生徒の成長を促す取組～」 石川県立金沢辰巳丘高等学校長 河岸 美穂</p> <p>※他に3校全体会誌上発表</p> <p>2 分科会</p> <p>第1分科会（教育課程）</p> <p>○「生徒ひとりひとりが生き生きと学ぶ学校づくり」 長野県上田高等学校長 宮下 美和</p> <p>※他に4校誌上発表</p> <p>第2分科会（生徒指導）</p> <p>○「本校の生徒指導に関する取組～特別支援教育、通級による指導を中心に～」 新潟県立荒川高等学校長 千葉 知樹</p> <p>※他に4校誌上発表</p> <p>第3分科会（管理運営）</p> <p>○「学校経営の改善に向け地域と連携したキャリア教育について ～教員の意欲を高める取り組み～」 富山県立上市高等学校長 前原 五輪雄</p> <p>※他に4校誌上発表</p>
講演等	<p>○総会 役員の承認、会則及び申し合わせ事項の確認等</p> <p>○講話 全国高等学校長協会 事務局長 宮本 久也 様</p> <p>○記念講演Ⅰ・パネルディスカッション</p> <p>〔講演〕演 題 「本当にやってきた～震災の経験を踏まえて～」 講 師 石川県立飯田高等学校長 角 秀明</p> <p>〔パネルディスカッション〕</p> <p>テーマ 「震災を目の当たりにして」</p> <p>パネラー 石川県立飯田高等学校長 角 秀明 石川県立輪島高等学校長 平野 敏 石川県立田鶴浜高等学校長 赤島あけみ</p> <p>司 会 石川県立金沢北陵高等学校長 中村 悟</p> <p>○記念講演Ⅱ演 題 「福島国際研究教育機構の創造的復興への挑戦 ～大学改革の経験をベースに～」</p> <p>講 師 福島国際研究教育機構理事長 前金沢大学長 山崎 光悦 氏</p>

ブロック	東海
日 程	8月2日（金）
会 場	ホテル ルブラ王山（愛知県名古屋市千種区）
実施形態	現地開催
研究協議	<p>1 開会行事</p> <p>（1）会長挨拶 東海四県高等学校長連絡協議会会長 高井 俊直</p> <p>（2）来賓祝辞 愛知県教育委員会教育長 飯田 靖 様 名古屋市教育委員会教育長 坪田 知広 様</p> <p>2 研究協議</p> <p>（1）静岡県提案 静岡県立伊豆伊東高等学校長 池田 将章 「伊豆伊東高等学校の開校」</p> <p>（2）愛知県提案 愛知県立豊野高等学校長 牧野 昌子 「普通科高校における校内研修の現状と課題 ～各校の特色化・魅力化に生かす研修の在り方～」</p> <p>3 講演</p> <p>講師 名古屋外国語大学 学長 亀山 郁夫 氏</p> <p>演 題 「世界教養としての文学」</p> <p>4 講話</p> <p>全国高等学校長協会事務局長 宮本 久也 様</p> <p>5 閉会行事</p> <p>次期開催県挨拶（静岡県）</p>
その他	参加者160名（静岡県30名、岐阜県18名、三重県29名、愛知県83名）

ブロック	近畿
日 程	<p>第1回 8月19日（月）～20日（火）</p> <p>第2回 1月20日（月）</p> <p>※近畿ブロックは、例年、年2回の研究協議会を実施</p>
会 場	第1回、第2回ともに「ホテル ヴィスキオ尼崎」
実施形態	対面開催
研究協議	<p>第1回 研究協議題</p> <p>① 高校における特別な支援や特別支援学校との連携について</p> <p>② 学校の魅力化に向けた特色ある取組について</p> <p>③ 学校における探究的な学びの実践について</p> <p>第2回 研究協議題</p> <p>① 不登校等の生徒に対応する多様な学びについて</p> <p>② 教員・管理職の確保や育成の取組について</p>

	③ 高等学校入学者選抜制度の現状について
その他	第1回 中央情勢報告 全国高等学校長協会事務局長 宮本 久也 氏 第2回 講演 前文部科学省教科調査官、東北福祉大学教授 長田 徹 氏 演題 「調整中」

ブロック	中国・四国
日 程	令和6年10月9日（水）～ 10月10日（木）
会 場	セントコア山口 （山口県山口市湯田温泉3丁目2－7）
実施形態	対面開催
研究協議	<p>1 研究発表</p> <p>(1) 広島県立廿日市西高等学校 校長 久保 陵二 「特別支援学校分校の設置に伴う異校種間連携および協働体制の確立に向けた取組について」</p> <p>(2) 愛媛県立長浜高等学校 校長 中岡 容美 「未来を切り拓く人材の育成 ～地域の特色を生かした長高（ここ）にしかない教育活動の実践～」</p> <p>(3) 鳥取県立岩美高等学校 校長 辻中 孝彦 「“What’s ウェルビーイング？” ～学校の魅力化とウェルビーイングな学校づくり～」</p> <p>(4) 高知県立室戸高等学校 校長 今井 康浩 「世界的な視野を持って、地域で活躍できる人材（グローバル人材）の育成～海外に一番近い学校の挑戦～」</p> <p>(5) 島根県立隠岐島前高等学校 校長 登城 智宏 「地域共創科の挑戦事例」</p> <p>2 全国情勢の説明 全国高等学校長協会 事務局長 宮本 久也様</p>
その他	<p>1 代表者会</p> <p>(1) 令和6年度役員の承認について</p> <p>(2) 研究協議会の日程について</p> <p>(3) 次年度以降の開催県について</p> <p>2 基調講演</p> <p>(1) 演 題 「哲学で人生と世の中の見方をガラッと変える方法」</p> <p>(2) 講 師 山口大学国際総合科学部 教授 小川 仁志様</p> <p>3 参加者数 約190人</p>

ブロック	九州
日 程	10 月 10 日（木）～10 月 11 日（金）
会 場	ニューウェルシティ宮崎 2F 高千穂・雲海
実施形態	現地開催
研究協議	<p>○研究協議題</p> <p>I「教師を取り巻く環境の整備について」</p> <p>1 教員不足及び講師不足解消への取組について 各県における施策，実効性を高めた事例，採用試験前倒し実施の効果，課題等</p> <p>2 働き方改革の進捗状況について 各県における施策，特筆すべき現場の取組，実効性を高めた事例について</p> <p>II「学校生活への適応が困難な生徒への支援について」</p> <p>1 メディアを利用する授業(遠隔授業)，通信授業の活用状況について 各県における施策，コンテンツの種類，観点別評価，課題等</p> <p>2 修得可能な単位数に関する規定の整備や通信授業や遠隔授業の在り方について 36 単位を上限とする認定ガイドライン(規定等)の有無，公的な支援場所(教育センター等)の設置・利用状況，課題等</p> <p>○照合事項に関する情報交換 防災対策の現状、Plant の活用、ICT を利用した個別最適な学びと協働的な学びの実践例、SNS トラブルに対する現状、大学入学共通テストにおける『情報Ⅰ』への対応</p> <p>○全国情勢報告（全国高等学校長協会 事務局長 宮本久也 様）</p> <p>○事例発表 「地域と連携した高等学校の在り方」～連携型中高一貫教育校としての歩みとこれから～ 福島高等学校長 吉田 重樹 「指導と強化の一体化と総合的な学習の時間の指導」都城商業高等学校長 大脇 光徳 「小規模校のささやかな挑戦」みなみのかぜ支援学校長 山腰 美穂子</p>
その他	<p>参加 79 名（内、宮崎県 36 名）</p> <p>10 日（木）に教育懇談会を実施（来賓を含め 65 名参加）</p>